



記者発表資料

平成25年10月10日(木)

国土交通省 関東地方整備局

宇都宮国道事務所

『技術開発・工事分離型』を全国で初めて試行的に適用

「新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務」の公募の特定結果について

標記、「新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務」について、平成25年8月19日～平成25年9月6日の期間に公募を実施したところです。

公募の結果、4者から応募があり、第三者委員会を活用し助言を頂いた結果を踏まえて、下記の通り、3件の技術開発の提案が特定されましたのでお知らせいたします。

今後、特定された技術開発については、業務の履行後、成果の確認・評価を行い、来年度に、別途、工事契約時に工事仕様として採用していく予定です。

記

業務名	特定者	履行期間
新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務 (その1)	大林道路(株)	平成25年 10月中旬 ～ 平成26年 3月末
新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務 (その2)	鹿島道路(株)	
新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務 (その3)	日本道路(株)	

注)・特定者は、応募関係書類の提出順により業務名を決定しております。

問い合わせ先

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

国土交通省関東地方整備局

道路部 道路工事課 課長補佐 中島 祥行 (TEL 048-600-1344)

技術開発・工事分離型  
方式について

宇都宮国道事務所 工事品質管理官 鹿島 秀昭 (TEL 028-638-2181(代表))

対象業務内容につ  
いて

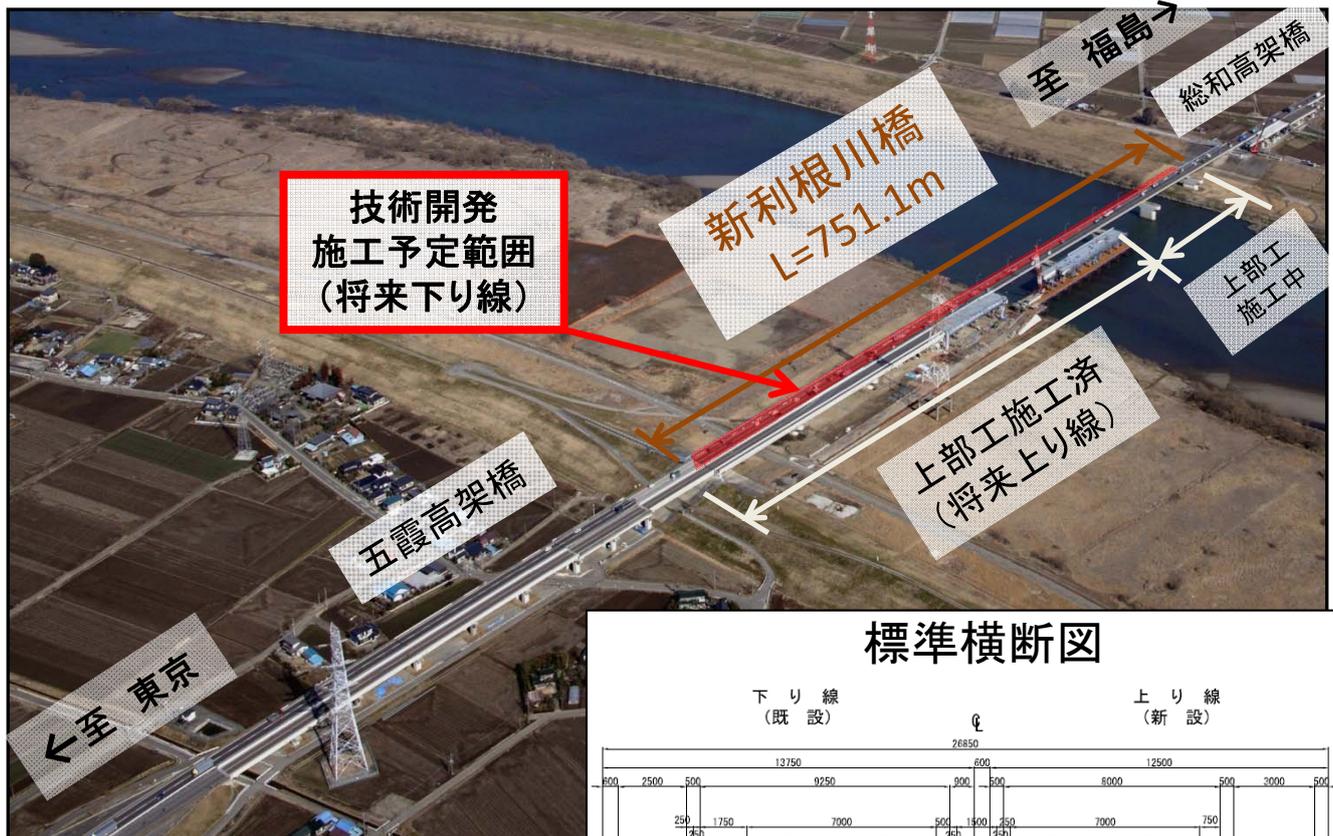
# 対象区間(技術開発)

## 新利根川橋

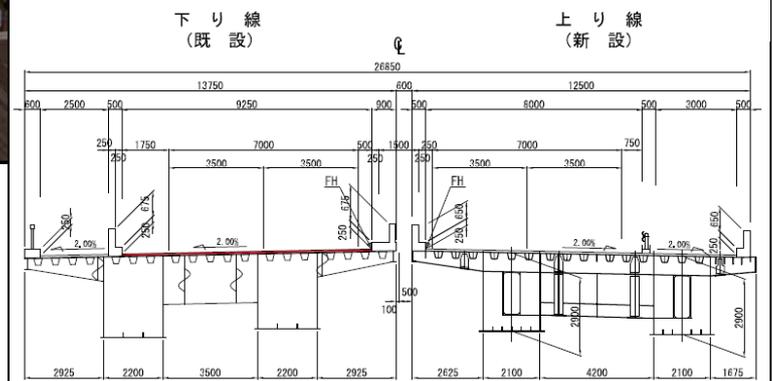
至  
東京  
方面



至  
福島  
方面



## 標準横断図

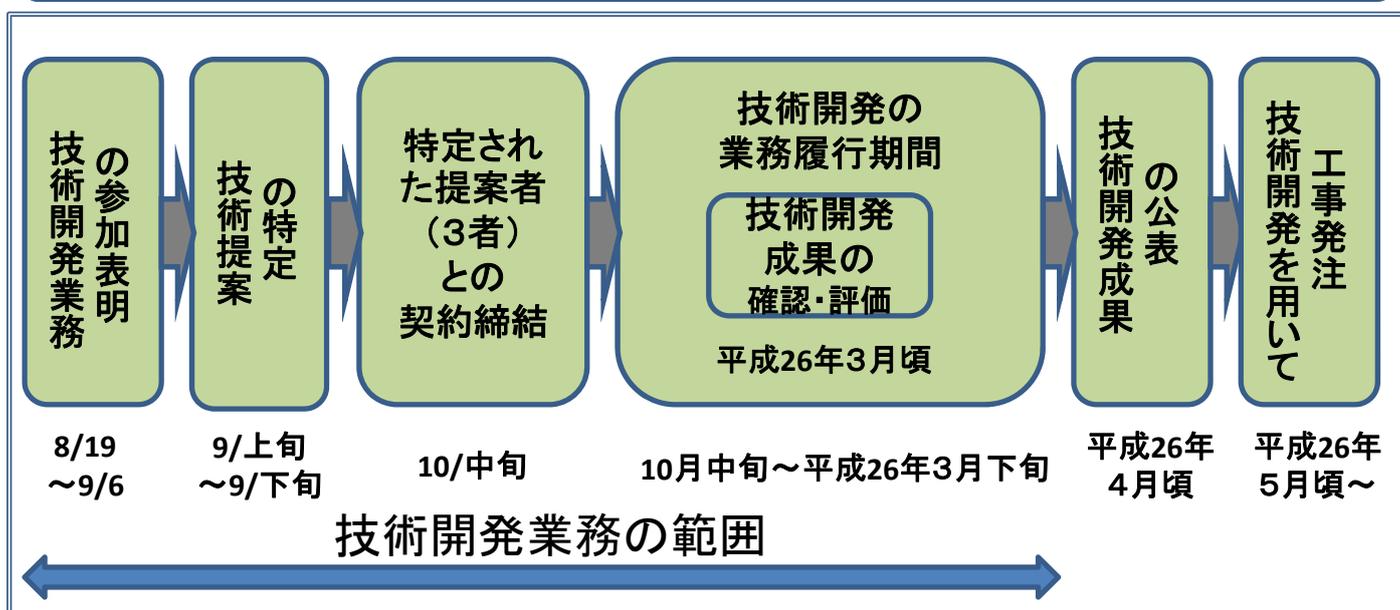


# 「新4号国道新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務」の手続きについて

## 技術開発業務の内容

本技術開発は、基層をSFRC舗装として二層構造を前提とし、新利根川橋固有の桁作用や温度変化、施工段階毎の荷重条件やそれらに応じて生じる鋼床版や桁の変形によるコンクリート系舗装への負荷を的確に反映した舗装構造とし、設計・施工管理計画を含めた舗装構造の技術開発・技術実証を試行的に行うものであります。

## 技術開発・工事分離型発注方式の手続きの流れ



◎ 応募された提案は、第三者委員会を活用し助言を頂きながら優れた3者の技術を特定します。

◎ 技術開発の業務成果(3業務)は、第三者委員会を活用し確認・評価を行い、成果の公表を行います。

◎ 技術開発の業務成果(3業務)を基に、別途、工事契約時に工事仕様として採用します。